

令和4年度予算審査特別委員会（第4回）

令和4年6月20日（木曜日）午前9時57分開会

○付託案件

- 議案第40号 令和4年度七飯町一般会計補正予算（第3号）
議案第41号 令和4年度七飯町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第42号 令和4年度七飯町介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第43号 令和4年度七飯町水道事業会計補正予算（第1号）
議案第44号 令和4年度七飯町下水道事業会計補正予算（第1号）

1. 報告書のまとめについて
2. その他

○出席委員（17名）

委員長	池田誠悦	副委員長	長谷川生人
委員	横田有一	委員	神崎和枝
委員	平松俊一	委員	田村敏郎
委員	稲垣明美	委員	畑中静一
委員	上野武彦	委員	坂本繁
委員	澤出明宏	委員	中島勝也
委員	川村主税	委員	江口勝幸
委員	若山雅行	委員	川上弘一
委員	青山金助		

○欠席委員（0名）

○議長出席の有無 無

○出席説明員（0名）

○本会議の書記

事務局長 広部美幸 書記 山本翔大
書記 三浦蒼生

午前9時57分 開議

○池田委員長 ただいまより、令和4年度予算審査特別委員会第4回目を開催いたします。

それでは、協議事項1の報告書のまとめについて、報告書案を配付しております。令和4年度各会計予算に係る報告書の提案を事務局からお願いいたします。

○広部議会事務局長 それでは、読み上げます。

委員会報告第6号。

令和4年度予算審査特別委員会報告書。

令和4年6月15日第2回定例会における議決に基づき、当特別委員会に付託された事件について審査した結果を下記のとおり報告する。

令和4年6月20日。

七飯町議会議長、木下敏様。

令和4年度予算審査特別委員会委員長、池田誠悦。

記。

1、審査に付託された事件名。

(1) 議案第40号令和4年度七飯町一般会計補正予算(第3号)。

(2) 議案第41号令和4年度七飯町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)。

(3) 議案第42号令和4年度七飯町介護保険特別会計補正予算(第1号)。

(4) 議案第43号令和4年度七飯町水道事業会計補正予算(第1号)。

(5) 議案第44号令和4年度七飯町下水道事業会計補正予算(第1号)。

2、審査の経過。

令和4年6月15日、16日、20日の3日間、委員会を開催し、副町長(各部長事務取扱)、教育長(教育次長事務取扱)、担当課長、センター長及び事務局長の出席を求め、審査を行った。

3、決定及び理由。

(1) 決定。

原案可決。

(2) 理由。

令和4年度一般会計の補正予算額は7億1,940万7,000円で、その内訳は政策予算とし

て35事業4億1,018万6,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業等として8事業2億9,057万円、通常の補正予算として9事業1,865万1,000円となっており、補正予算後の合計額では前年度同期と比較して3億4,483万1,000円、3.0%増加している。

令和4年度特別会計の補正予算額は79万6,000円で、補正予算後の合計額では前年度同期と比較して1億5,819万6,000円、2.4%増加している。

令和4年度企業会計の補正予算額(収益的支出と資本的支出の合計)は2億872万7,000円で、補正予算後の合計額では前年度同期と比較して6,229万6,000円、3.0%増加している。

以上のことを踏まえ、当特別委員会に付託された5議案について、慎重に審査した結果、議案第40号、議案第41号、議案第42号、議案第43号及び議案第44号は、いずれも出席委員の全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

なお、3ページから4ページは、歳入歳出の一覧表を記載してありますので、後ほど御参照ください。

以上です。

○池田委員長 御苦労さまでした。

ただいま報告書案について、事務局の方に読んでいただきましたが、修正などありませんか。

若山委員。

○若山委員 ちょっと確認ですが、2ページ目の理由のところの新型コロナウイルス感染症対応交付金事業が2億9,000万円というのは、この数字は間違いないでしょうか。そこも確認というか、足していないのであれなんだけれども、ちょっと予算のあれからいって合っているのかなど。これは三つ足すと7億1,900万になるのであれなんですけれども。

それと、意見というか、こうしたほうがいいのではないかなというのは、反対されるかもしれないですけれども、まず今回は骨格予算があっ

て、肉付予算になっているという、そういう予算の性格の説明を入れていただきたいと思うのと、補正予算を審議しているのに、既に広報に募集の内容をかけているようなことがあります。補正予算作成のスケジュール管理とか、そういうのをしっかりやっていただきたいということをごどこかに入れていただきたいというふうに思うのと、こんなに簡単にまとめないで、町長の公約とか政策的予算の主なものをついてピックアップして説明するような形で、こういう形で予算ができていますよというのを盛り込んだほうがいいのではないかと思いますので発言させていただきます。

○池田委員長 ただいま若山委員の言われた御意見ですけれども、皆さんどうでしょうか。

横田委員。

○横田委員 今、若山委員が言われたもう少し濃くというのですか、ちゃんと書いてくれと言ったのですけれども、審議の内容は皆さんの質疑応答で大体、諮った内容であるので、この程度でいいのではないかと思います。

○池田委員長 畑中委員。

○畑中委員 私は、この原案というのでしょうか、この報告書の内容でいいと思います。

ただ、若山委員がいろいろ御心配されてこのようにしたほうがいいのではないかとというようなこともありましたけれども、もしできましたら口頭でなく文書か何かで出していただければ、非常に我々も考えてみたいと思うのですけれども、今の段階ではこれがいいのかなと私は思います。

以上です。

○池田委員長 2名の方からこの報告書でいいのではないかとのお話がありましたけれども……。

青山委員。

○青山委員 私も今回の特別委員会で審査された内容が記入されていると思います。

したがって、文面的には短いでしょうけれども、内容はこれでよろしいのではないかと思います。

以上です。

○池田委員長 皆さんのこのまとめでよろしいのではないかと。

若山委員。

○若山委員 皆さんがそれでいいと言うなら一人で反対してもしょうがないのであれなんですけれども、先ほど言った臨時交付金事業についての金額について、歳入を見ると2億3,908万1,000円なのです。だから、これは事業としてこんなにやっているという形になるのかどうか、ちょっと大丈夫なのか。

僕は今日、足してこなかったの、各事業ごとに分けてという、この間のまとめについてちょっと意見は言いましたけれども、この数字が正しいのかどうか、ちょっとそこだけ答弁をお願いしたい。

○池田委員長 局長。

○広部議会事務局長 今、若山委員がおっしゃったように、コロナ関係の臨時交付金事業だけですと2億3,908万1,000円ですけれども、そこ「等」と付けておまして、その「等」中にはコロナ関係の住民税非課税世帯の臨時交付金事業やコロナウイルスのワクチン接種事業も入っております。それで「等」と付けておまして、その部分を足して2億9,057万円と記載しております。

○池田委員長 若山委員。

○若山委員 それだと何か僕のような誤解を受ける方がいるのではないかなと思うわけです。

交付金事業として、「等」になっているからいいというのはあれなのかもしれないですけれども、それだったきちんと分けて交付金事業何かとか、ほか何とかと言ったほうがいいのではないかと思います。

だって予算が交付金事業は2億3,900万円なので、じゃないかなというのと。それと、もう一つ先ほど言った予算が審議されているのに、既に広報に出ているとかというのに対して、それについてはストレートに書くのはちょっとあれなのかもしれないので、スケジュール管理とか、そういうのをしっかりお願いしたいというのは報告書に載せていただきたいと思うのですけれども。

そこを皆さんにもう一度諮っていただきたいと思います。意見とか、それはもうしようがないことなんだというのか、そこをよろしくお願いします。

○池田委員長 それでは、若山委員のほうから今、言ったようにこれから補足を付けたらどうかと皆さんに諮ってもらいたいということで、皆さんどう思いますか。ほかの委員の方々は。

神崎委員。

○神崎委員 予算がまだ決まっていないうちに広報に載ったということで、説明があったかと思うのです。時期的なものとか、いろいろとそういう関係性のものがある、時間的なものがあるので今回は載せさせていただきましたというような答弁はありましたので、それは理解しましたのでよろしいかと思えます。

そこまで入れるとなると、全部中身を入れなければいけないというふうになるかなと思いますので。

○池田委員長 畑中委員。

○畑中委員 例えば、今、若山委員が御指摘された新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金事業等という部分について、非常にこだわっていましたが、文書の中にこういう文書がたくさんあるし、私は別に大した構わないのではないかなと私は思うので、原案に賛成します。

○池田委員長 あと、発言ありますか。

若山委員、今のようにほかの委員たちは今回はこれでいいのではないかという意見が多数あるのですけれども、どうでしょうか。

若山委員。

○若山委員 皆さんがそう考えるなら特にそれ以上は言いません。

ただ、何かおかしくないかなというところがあったので。先ほども言ったとおり、まとめた事業内容について、例えばクーポン事業をやるとか、町長が言った図書館の金の積立があるとか、こういう項目を載せたほうがいいんじゃないかなというふうに思っただけなので、これ以上はやめます。

○池田委員長 分かりました。

であれば、これに補足も何も入れないで、この理由を付けて報告書にかえさせてもらう。

横田委員。

○横田委員 今、若山委員についてどうするのについての話ですが、それ以外についての話で、それ以外で手を挙げていた話はもうなしということですか。質問したいことがあるのですが。

○池田委員長 質問はまた受けますけれども、若山委員から来たので、今、神崎委員ですか言葉があったので、今、このままの状態でした。あとほかに何かありましたらまた受けます。

横田委員。

○横田委員 この理由の2ページのところに、令和4年度企業会計という言葉が出てきているのですけれども、この言葉がなじむのかどうか我々は分かるのですけれども、この水道会計、下水道会計のこと言っているのではないかというの分かるけど、一般の方が見たら分かるかどうかということで、もう少し米印つけて書くとか何かしてもらいたいというのと、もう1点は、前年度同期という言葉を使っているのだけれども、これはどういう意味なのかというはちょっと分かりづらいと思います。ここも、もう少しかみ砕いてもらっていいと思います。

以上です。

○池田委員長 今、横田委員から言葉が分かりづらいということで、米印、括弧で説明の補足部分があったらいいのではないかという御意見がありましたけれども、皆さんどうでしょうか。

畑中委員。

○畑中委員 例えば企業会計に公的に移ったのですけれども、やはり一般の町民からすると、この変わったのがなかなか分からない人もいるし、何だろうと思うので、もしあれだったらこの報告書の下にでも、この企業会計という部分はこうなんだということを注釈付けてくれればもうちょっといいのかなと私も思います。

以上です。

○池田委員長 それでは、今、横田委員の言わ

れた企業会計と前年度同期という部分がもう少し分かりやすく、括弧書きで補足したほうがよろしいですか。

皆さんどうですか、よろしいでしょうか。

若山委員。

○若山委員 企業会計何とかというのは、前年からもずっと使っているもので、そんなに違和感がないような感じがあるのですけれども、より詳しく説明されるということであれば、反論するものでもないけれども、予算になったらそういうことが行われているので、どうなのかなと思います。

○池田委員長 皆さんどうでしょうか。

それでは、今、若山委員から前年度もやっていますけれどもという話ですけれども、どうですか横田委員の言ったもう少し企業会計について説明文を入れたほうが良いという意見、どのようにしたらよろしいでしょうか。

青山委員。

○青山委員 私、前年からこういう形で載せているというのは確かにそうですけれども、今回の理由の文面が半分くらい下空いていますので、下に注釈という形で入れていただければ、より分かりやすくなるのかな、優しくなるのかなと思います。

以上です。

○池田委員長 今、青山委員から空白の部分に説明文を入れたらどうかという意見がありましたけれども、どうでしょうか。

よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○池田委員長 反対意見がないので、よろしいということで、それでは空白の部分に補足してください。

この報告書で、あとは何かありますでしょうか。

川上委員。

○川上委員 今、横田委員から前年度同期という言葉はどういうふうに変えるか、どうですか。

○池田委員長 局長。

○広部議会事務局長 前年同期という意味は、

令和3年6月補正後という意味です。

もし、入れるのであれば企業会計のところと同じように下に、そのように載せてもよろしいでしょうか。

○池田委員長 皆さん、どうでしょうか。局長のほうからそういう提案がありましたけれども、よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池田委員長 あとほかにありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○池田委員長 なければ、報告書はこれで決定するというので、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池田委員長 それでは、報告書案については、承認されたものとして、定例会最終日に報告いたします。

それでは、これで終わります。

ありがとうございます。

午前10時17分 散会

